

2023年6月21日

アウディ、急速充電の定義を変える： オーストリア初の Audi charging hub、ザルツブルクにオープン

- 最大出力 320kW、予約可能な 4 つの急速充電ポイント
- パフォーマンスを低下させることなく、持続可能な充電が可能
- バリアフリー、高い充電出力、既存電力インフラの活用により、充電をプレミアムな体験に
- クレジットカード、Apple Pay、Google Pay でも支払いが可能
- 24 時間年中無休。数多くのサービスの併設により、充電目的以外の人々を魅了

(ドイツ本国発表資料) 2023年6月15日、ザルツブルク：アウディは、オーストリアに初の Audi charging hub (アウディ チャージング ハブ) をオープン。ニュルンベルク、ベルリン、チューリッヒに続き、世界で 4 番目となるプレミアム急速充電ステーションを、ザルツブルクに開設しました。その隣には、アウディの電気自動車 e-tron やニューモデルを見たり、体験したりすることができる、MOONCITY を併設。お客様は充電中に、有意義で楽しい時間を過ごすことができます。

AUDI AG 最高経営責任者 (CEO) マルクス ドゥスマンは、次のように述べています。「ヨーロッパおよび世界中で充電インフラを迅速に拡大することは、e モビリティの成功にとって極めて重要です。私たちは、政治と産業界が共同でこの課題に対処すべきであると考えています。Audi charging hub は、公共充電ステーションを補完するものです」。

Vorsprung durch Technik (技術による先進)、パフォーマンスを低下させずに高い充電出力を実現
Audi charging hub は、中電圧送電網への接続を必要としない点で、他の多くの急速充電ステーションとは異なっており、追加のインフラ整備を必要としない点で、従来の急速充電ステーションと一線を画しています。この充電ステーションは、アウディの e-tron 開発車両から取り外した、使用済み再生リチウムイオンバッテリー (セカンドライフ バッテリー) を収めたモジュール式コンテナ「チャージングキューブ」をベースに構築しています。

この設計により、地域の送電網に対する負荷が軽減され、複雑で高価なインフラ整備が必要なくなります。ザルツブルクの Audi charging hub には、蓄電装置を備えた 4 つの充電ポイントがあり、最大出力 320kW で車両を充電することができます。充電ステーションがフル稼働し、4 つの充電ポイントすべてを同時に使用した場合でも、各充電ポイントは常に 320kW の出力を供給可能です。

バリアフリー

Audi charging hub は、すべての人々が利用できるように、バリアフリーの実現を最も重視しました。広々とした敷地により、車椅子ユーザーが車両のドアを開けて、敷地内を移動する場合でも、十分なスペースが確保されています。決済用端末は、ボタンを押すだけで車椅子に適した高さに移動させることができます。車両がプラグ&チャージ機能に対応している場合、充電はさらに簡単になります。この機能を利用すると、車両および充電ポイントの間で支払い情報が直接通信されるため、現金による支払いや確認作業が不要になります。さらに、充電ケーブルは革新的な回転アームに取り付けられているため、充電プラグを車両の任意の位置に簡単に移動できます。どの電気自動車でも、ユーザーは充電ポートに簡単にアクセスできます。

様々な支払い方法を利用可能

この新しい充電コンセプトは、アウディのドライバーでなくても、メーカーを問わず CCS (コンバインド充電システム) 充電ポートを備えた電気自動車であれば充電可能です。アウディのお客様は、事前にスロットを予約することができます。myAudi アプリを使用してスロットを予約することにより、待ち時間なしに充電できます。予約した充電ポイントは、開始予定時刻から最大 15 分間の準備時間が設定され、ディスプレイに表示されます。

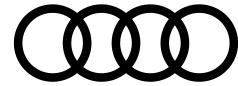
ニュルンベルクとチューリッヒで行われた実証実験の結果は、アウディあるいは他ブランドの電気自動車のドライバーが、アウディが開発した都市部における急速充電コンセプト Audi charging hub をどのように受け入れているかを示しています。ニュルンベルクでは、2021 年 12 月以降、1 階に 6 つの充電ポイント、2 階には 200m²のラウンジを備えた大型の Audi charging hub を運用しており、このサイトにおけるお客様のリピート率は 70%に達しています。Audi charging hub プロジェクト マネージャーラルフ ホルミグは、次のように述べています。「お客様は、Audi charging hub での充電を日常生活に組み込んでいます」。初めて Audi charging hub が設置されたニュルンベルクでは、1 日あたり最大 62 回、1 日平均 36 回の充電が行われており、利用者の約半数は、アウディの電動モデルでこの場所を訪れています。ホルミグは、次のようにコメントしています。「2021 年 12 月に初めて Audi charging hub を設置したとき、これほどの成功を収めると予測した人はほとんどいませんでした。2023 年初頭までに、すでに 1 万人が Audi charging hub を訪れました。チューリッヒでも、同様に高い需要が見られます。これらの数字は、自宅での充電ではなく、都市部で充電するというアウディのコンセプトが正しいものであることを裏付けており、ここザルツブルクでも、成功を収めることができると確信しています」。

アウディが独自に開発した高度なダイナミック ロード コントロール (動的負荷管理システム) は、既存の電力インフラの効率的な利用を実現します。設置場所を選定する際、アウディは社内のデータ分析に基づき、現地の電力需要を事前に調査しました。

技術的なプロジェクト管理は、Audi charging hub を運営するアウディのパートナー企業、MOON POWER が担当しています。MOON POWER は、充電ポイント事業者 (CPD) として電力を買い取り、料金システムを運営しています。MOONCITY ザルツブルクのすぐ隣には、商業施設 (娯楽施設やレストラン) もあるため、このようなプロジェクトには最適な立地です。

アウディ オーストリア ブランドディレクター トーマス ベランは、次のように述べています。「世界で 4 番目の拠点として、ザルツブルクに Audi charging hub をオープンできたことを嬉しく思います。都市を走る電気自動車の数は増加しており、都市部における柔軟でプレミアムな急速充電インフラの整備は、ますます重要になっています。アウディの電気自動車 e-tron は高い人気を博し、ザルツブルクのような都市でも充電ニーズが高まっており、従来の充電ステーションに加えて、プレミアムな充電ステーションの需要が生まれています」。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。



フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、13カ国22か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界100以上の市場に存在しています。2022年、アウディグループは、161万台のアウディ、15,174台のベントレー、9,233台のランボルギーニ、および61,562台のドゥカティを販売しました。2022会計年度において、アウディグループは総収益61.8億ユーロ、営業利益7.6億ユーロを達成しました。世界中で、アウディグループでは2022年に87,000人以上が働き、そのうち54,000人以上がドイツのAUDI AGで働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。
